

近 代		封 建 時 代								
明 治 時 代			江 戸 時 代			時 代				
一〇九	一〇八	一〇七	一〇六	一〇五	一〇四	一〇三	一〇二	一〇一	一〇〇	九九
一〇九 安達太良山噴火する 死者多数である	一〇八 二本松幼稚園ができる	一〇七 二本松電灯会社ができる	一〇六 岳下村、杉田村、石井村が誕生する	一〇五 各町村で小学校を開設する	一〇四 二本松に警察署ができる	一〇三 二本松郵便局が仕事を開始する	一〇二 朝河貢一が根崎下の町の新長室に生まれる	一〇一 ○ 各町村で小学校を開設する ○ 二本松に警察署ができる ○ 二本松郵便局が仕事を開始する ○ 二本松駅ができる ○ 二本松小学校新校舎ができる	一〇〇 日清戦争がおこる	九九 義和田の乱がおこる
一〇九 丹羽光重、白河より二本松に移る	一〇八 霞ヶ城改築・城下町の町割ができる	一〇七 ※霞ヶ城址は、一八六八年までの二百二十余年にわたり、二本松藩丹羽氏の居城となる	一〇六 年貢の定免制ができる	一〇五 二合田用水完成する	一〇四 丹羽高寛公五代藩主となる	一〇三 藩政改革のため、江戸の儒学者岩井田昨非を登用する	一〇二 ○ 戒石銘できる ○ 丹羽高寛公が岩井田昨非の進言により先納金により、苗字、帶刀を託す	一〇一 ○ このころ、冷害等により各地に百姓一揆が発生する ○ 戊辰戦争がおこり二本松(霞ヶ城)落城する ○ 各町村で小学校を開設する	一〇〇 日清戦争がおこる	九九 日露戦争がおこる
一〇九 丹羽光重、白河より二本松に移る	一〇八 霞ヶ城改築・城下町の町割ができる	一〇七 ※霞ヶ城址は、一八六八年までの二百二十余年にわたり、二本松藩丹羽氏の居城となる	一〇六 年貢の定免制ができる	一〇五 吉宗八代将軍となる	一〇四 人材登用をはかる	一〇三 公事方御定書を制定する	一〇二 定面制を全面的に施行する	一〇一 ○ 各地に大規模な一揆がおこる ○ 天明のききんがおこる ○ 寛政の改革がおこる	一〇〇 イギリスで名誉革命がおこる	九九 清教徒革命が始まる
一〇九 幕府、田畠の永代売買を禁止する	一〇八 明が滅亡し清が中国を統一する	一〇七 イギリスが東インド会社をつくる	一〇六 モンテスキューが「法の精神」を完成する	一〇五 吉宗八代将軍となる	一〇四 人材登用をはかる	一〇三 公事方御定書を制定する	一〇二 定面制を全面的に施行する	一〇一 ○ 各地に大規模な一揆がおこる ○ 天明のききんがおこる ○ 寛政の改革がおこる	一〇〇 イギリスが東インド会社をつくる	九九 清教徒革命が始まる
一〇九 鎮国が完成する	一〇八 幕府が完成する	一〇七 一〇六 一〇五 一〇四 一〇三 一〇二 一〇一 一〇〇 九九	一〇〇 イギリスが東インド会社をつくる	九九 清教徒革命が始まる						